

一九六〇年代、国民一人当たりの医療費が世界一だったアメリカの平均寿命は世界二十六位でした。

このままではアメリカの経済は破綻する」と、アメリカ上院栄養問題特別委員会が学者を集めて食事と健康を調査し、発表されたのが「マクガバン・レポート」です。

「がんや心臓病などの増加は食生活の誤り」と発表され、「肉、卵、乳製品、砂糖」などの摂取を控え、穀物中心の食事にするように提案されました。

「食生活とがんは関係ない」などと豪語するがん専門医が大勢いる一方で、食生活の見直しは糖尿病患者だけに限り指導されているという矛盾があります。

日本は優れた医療設備を持ち、化学薬品を大量に消費しているにも関わらず、アレルギー

の意見が色濃く反映されています。

日本では小泉内閣において初めて「食育」が重要であると認識されました。戦後、わが国を支配してきた栄養学を公的機関で見直したことは高く評価すべきことです。

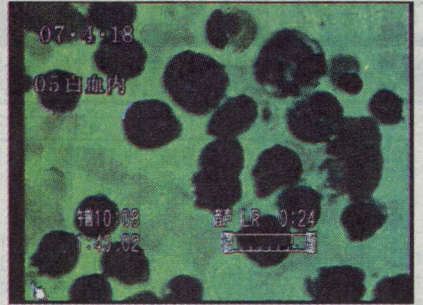
ところが、今日わが国の先端医療では、



自然医学総合研究所所長

大沼 善誉

自然治癒を科学する



黒い円状のものが幼若化した白血球と診断されたもの (4月18日撮影)



上部と中央に多数の白血球 (8月28日撮影)

がんの盲点⑱

も一部で言われているようにです。

今年四月に急性リンパ性白血病を発症した金沢在住の二十代の男性は、白血球が八万と増多し、芽球といわれる幼若化した白血球の増殖を抑えるため

に、抗がん剤治療を受けた後骨髄移植と診断された、代替医療を求め

た。この体質は、日露戦争で誤った知識で兵士から二十五万人もの脚

訪れました。当院では白血球が幼

若化した要因として、

血液の酸化を疑い、食事と調味料や水を見直して、補助食品として、多種類のミネラル、葉緑素、酵素飲料水

を摂取させ、光線療法の後にく、日本の医療にも取

結果、初日から熟睡できるようになり、九月二十日までの八回で、白血球が一

千まで減少していた

(名譽医学博士・生

に掲載します)

化学博士・平成11年

社会文化功労賞受賞

ナチュラルケアセン

ター院長)

(毎月 第1木曜

日)

10時~16時30分

費用: 会員無料

非会員1000円

主催: 民間非営利団体 国際自然免疫学会

共催: 自然医学総合研究所

問い合わせ 電話 052・801・7063 Eメール yoshinori@nrt.ne.jp URL

講演会のお知らせ

テーマ (1) 午前 「生命の法則・自然治癒の原理」
 テーマ (2) 午後 「相談会&体験会」
 講師: 大沼善誉 自然医学総合研究所所長 ナチュラルケアセンター院長 平成11年度社会文化功労賞受賞 博士・名譽医学博士
 開催日: 10月21日 (日) 名古屋 市東区ウィルあいち
 時間: 10時~16時30分
 費用: 会員無料 非会員1000円
 主催: 民間非営利団体 国際自然免疫学会
 共催: 自然医学総合研究所
 申し込み: 自然医学総合研究所
 TEL 052・801・7063